

iEARN2007 エジプト国際会議でアートマイル国際交流の発表

高校生の実践発表と教師・研究者によるワークショップ

ジャパンアートマイル 塩飽 隆子、清水 和久、稲垣 忠

2006年度に実施したアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトで、シリアのパレスチナ難民キャンプの小中学生と日本の小中学生が交流して、共同で5枚の壁画を完成させた。このプロジェクトに参加した日本の生徒が、2007年7月エジプトで開催されたアイアーン国際会議で実践発表を行った。また、彼らの交流をサポートした教師と大学の研究者が、アートマイルを使った交流学習を国際理解教育として充実させることを目的に、海外の教師を対象にワークショップを開催した。

1 日程について

〔日時〕2007年7月21日～26日

〔場所〕エジプトのカイロ

〔参加者〕高校生3人、大学院生2人、

JAMプロジェクトサポーター4人

2 生徒の実践発表のねらい

パレスチナ難民と交流した生徒たちは、異質なものに触れ、自分を見つめ、問題意識が高まった。そこで得たことを世界の同世代の人に伝えたいと、国際会議での発表を望んだ。彼らのねらいは、外の世界に触れてもっと世界を知ることであり、自分を高めることであった。JAMは彼らにアイアーンという場を提供した。

3 実践発表の内容

高校生は、45分のプレゼンテーションで、パレスチナ難民の同世代との交流と壁画の共同制作を通して学んだことと、自分にとっての国際交流の意味を発表した。



↑ 高校生の発表の様子



4 実践発表の成果及び課題

成果は生徒の言葉、「日本では平和というのはみんな仲良しで明るいイメージでいつでもそこにあるものだけど、武器を持って戦って手に入れるのが平和という国がたくさんあることを知った。」

2 教師対象のワークショップのねらい

アートマイルプロジェクトを実施する上で年間を通したカリキュラムの流れをイメージ化できるように、おこなった。

具体的にはイラスト入りのカード (Activity card, Communication card, Drawing card) を準備し、このカードを組みあわせて、グループごとにカリキュラムを作成した。

3 教師用ワークショップ内容

3種類のカードとは、「相手の文化を調べる」「自国の文化を調べる」「絵のメッセージを考える」等の Activity card、「自己紹介」「テーマの相談」「感想の交換」「制作の分担」等の Communication card、「テーマの決定」「下



絵を描く」「着色する」等の Drawing cardの3種類で、これらを組み合わせながら、9月から3月の6ヶ月間の計画をグループで作っていく。どちらの国から絵を描くのか、TV会議などをどこに入れるのかなどを、具体的なスケジュールに基づいて入れていった。表にすることで、相手国の動きもわかりやすく活動全体のイメージを持つことができた。

9月から3月の6ヶ月間の計画をグループで作っていく。どちらの国から絵を描くのか、TV会議などをどこに入れるのかなどを、具体的なスケジュールに基づいて入れていった。表にすることで、相手国の動きもわかりやすく活動全体のイメージを持つことができた。



4 ワークショップの成果及び課題

プロジェクトではインターネット上での打ち合わせになるが、実際に計画表を目の前にして打ち合わせを行うとイメージがしやすかった。絵を描く打ち合わせだけではなく、TV会議等のコミュニケーションの機会の位置づけなどを話し合うことができた。2007年度にはこのワークショップに参加した教師の学校と実際にアートマイルプロジェクトを実施することができた。